

令和5年度和歌山市立西和佐小学校スクールプラン

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

最後までよく考え、共によりよく生き、健やかな心と身体を養う子供の育成
～知育・徳育・体育のバランスの取れた生きる力～

前年度の学校評価

- ・パソコンを使っている学習や外国語の学習など。今の社会に必要なことを学んでいる。
- ・コロナ禍ということもあって、地域との連携に弱さがある。

保護者・地域の願い

- ・子供に学力をつけてほしい。
- ・平和を大切に、より良く問題解決する力を育ててほしい。
- ・自分も友達も大切にできる子に育ててほしい。
- ・学校に行くことを楽しみにする子になってほしい。
- ・地域を愛する子に育ててほしい。

【めざす児童像】

- 1、あきらめずに最後まで自分で考える子供
- 2、まわりの人に優しく、共に尊重し合う子供
- 3、意欲的に生き生きと活動する子供

児童の実態

- ・学校が楽しいと感じている児童が多い。
- ・落ち着いて話を聞き、授業を受けられる。
- ・人懐っこく誰に対しても親しく話すことができるが、人前に出て堂々と話すことは苦手。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな学力
- ◎児童主体の授業の推進
- ◎家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎人権・同和教育を推進すると共に人権意識の高揚に努める。
- ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実

健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- ◎危機回避能力の育成
- ◎人間の体を知る

地域とともにある学校

- ◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を行う
- ◎幼・小連携の推進
- ◎ホームページを充実させ情報発信

具体的な取組

○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る
○「チャレンジタイム」の時間を活用し、基礎学力の定着を図る
○国語力の強化、1年から6年までの目標を設定し書く力の積み重ねに取り組む
○保護者の協力のもと家庭学習の定着を図る
○「朝読」の時間を確保し、読書を習慣づける

○保護者と児童のよさを共有しながら児童を心豊かに育てる。
○「特別の教科 道徳」で児童が考え話し合う活動を大切にする
○いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
○情報モラルやネット社会に潜む危険について、保護者と共に学ぶ機会をもつ
○各行事において児童が主体的に係わる機会をもつ

○「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨
○体育科の中で活動時間を多く取り入れられるように工夫する
○晴れの日には運動場で体を動かすように声かけをする
○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
○「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る

○児童の少しでも良い様子を伝え、保護者の子育てや教育に対する意識を高める
○地域の自然や文化を積極的に活用する
○地域の方々や関連した方々をゲストティーチャーとして依頼し、地域学習を推進する
○幼・小連携の充実を図る
○各種便りやホームページなどを通して積極的に情報を発信する

指標

・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正答数の県平均値を目指す
・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)

・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上)
・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)

・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上)
・体力テストの平均値を県平均値以上を目指す

・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上)
・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)

◎：特に重点的に取り組むこと